

競技注意事項

第78回愛知選手権名古屋地区標準記録突破競技会

- 1 本大会は2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施します。
*この競技会の記録は、日本陸連の公認対象です。
*本競技会の結果は、記録速報のほかリザルトが公表されます。結果には、順位・記録のほか選手の氏名・所属・学年を含みます。

*リレー、5000m、10000m、混成競技の申込み期限は9日(日)22時までです。今回の競技会で標準記録を突破した場合は、申込み忘れのないようご注意ください。

6月8日(土)9日(日)に行われる、地区の大会で愛知選手権の長距離・リレー種目と県混成種目の標準記録を突破し、出場を希望する場合は、9日(日)22時までにWEB申し込みを完了してください。データを既に送ってあり追加する場合は、ファイルに続けて書き足して送り直してください。
その際に、上書きをして、前のデータを消さないようにしてください。

*この大会は競技時間短縮のために、競技開始時間を1分単位としています。招集時間を間違えないようにしてください。

*前年度から、中高校生の2重登録が日本陸連から認められましたが、大会出場に関しては、どちらか一方の所属でのエントリーとします。申込の際に二つの所属で同一人がエントリーがあった場合は、主催者の判断で片方のエントリーの削除を行いますのでご了解ください。また、プログラムに記載されている所属団体の変更は行いません。

2 ナンバーカード（ビブス）について

- (1) 本年度の登録番号をユニフォームの胸、背に確実につけてください。
走高跳、棒高跳は胸または背、走幅跳、三段跳は、胸につけるだけでも構いません。
- (2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付します。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさで明確に数字が読めるようにつけてください。
- (3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（ゴール前方スタンド側）に返却してください。

3 ウォーミングアップ場について

- (1) ウォーミングアップ場は、原則として瑞穂北陸上競技場とします。
ただし、北陸上競技場でも競技を実施していますので係の指示に従ってください。

※レーン使用区分は原則として次のとおりとします。

1・2レーンは中・長距離、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル

1日目は9時40分から12時40分まで、2日目は男女200m、男女5000mが実施されている時間帯は、本競技場第2コーナーからバックストレートを使用してもかまいません。

走る方向は第2コーナーからバックストレート方向とします。この時間帯は、走幅跳、円盤投、やり投等のフィールド競技が実施されていますので、十分に注意をしてください。

- (2) フィールド種目の練習は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示に従ってください。
- (3) 瑞穂陸上競技場2階室内雨天走路の使用については、晴天時はジョギング程度の使用とします。雨天時は競技役員の指示に従ってください。
- (4) 競技開始前の本競技場のトラックは、大会の準備に支障のない範囲で出場競技者に限って、ウォーミングアップのために最初のトラック競技開始時刻15分前まで使用しても構いません。

ただし、両日ともハードル種目出場者は、15分前の条項を適用しません。

※1日目・2日目のハードル種目のウォーミングアップについては、本競技場の使用を認めます。

1日目、女子5000m競歩の競技中は7・8レーンのみ、3台目までの練習とします。

7レーンは女子用、8レーンを男子用とします。

2日目、男女の400mHは、7～8レーンを男子用の高さとします。

- (5) 持ち込みの牽引用チューブやミニハードル等の使用は禁止します。
また、ハードル種目出場者以外は、競技用器具は使用しないでください。

4 招集について

名古屋地区の大会は、招集所の混雑緩和と招集後の待ち時間短縮のためトラック種目の招集時間・競技時間を細分化してあります。そのため、トラック種目の招集時間が短くなっています。また、スタート時間を分単位としています。

- (1) 招集所は正面スタンド下、100mスタート付近競技者ホールに設けます。
すべての種目の招集をこの場所で行います。北陸上競技場で実施される種目に出場される方は、移動時間を考慮してください。
- (2) 招集の受付は本人が行ってください。時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めません。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準として、次のとおりとします。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	35分前	20分前
フィールド競技	棒高跳以外の種目	60分前	40分前
	棒高跳	80分前	60分前

- (4) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めますので競技者係主任（招集所）に事前に申し出てください。

*** 2018年度からリレーのルールに変更があります。**

- ① オーダー用紙は、一度提出したら締め切り時間前でもメンバーや走順の変更ができなくなりました。
- ② 4×100mRのバトンゾーンが30mになりました。

5 競技場への入退場について

- (1) 入場は競技役員の指示に従い行ってください。
- (2) 退場は、下記のとおりとします。
トラック競技 フィニッシュ地点退場口から**2階の雨天走路**を経て退場してください。
フィールド競技 競技場所から近い出入口から退場してください。

6 レーン順・試技順について

- (1) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示します。
- (2) 欠場者のレーンは100m～400mではあけます。800mについては競技役員の指示に従ってください。

7 競技について

この大会は、**表彰はありません。**

- (1) トラック競技について
この大会は、**不正スタート1回失格を適用する競技会として実施します。**
① スターターの合図は英語とします。（「On your marks」、「Set」）

- ②すべて写真判定装置を使用します。
- ③短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走ってください。
- ④番組編成は申込記録上位から1組、下位を2組以降とすることを原則とします。
- ⑤男子5000mWはスタート後28分、女子5000mWはスタート後33分で最終周回に入れない場合はレースを打ち切ります。
- ⑥男子5000mはスタート後20分、女子5000mはスタート後25分でレースを打ち切ります。
- ⑦男子10000mはスタート後40分でレースを打ち切ります。
- ⑧リレー種目は、欠場チームが多い場合には再番編を行う場合があります。
- ⑨レース中に競技者が自らの意志でトラックを離れた場合は、そのレースを継続することができません(途中棄権DNFとなります)。

(2) フィールド競技について

長さを競う競技では、トップ8は実施しません。

走幅跳・三段跳のピットは、メインスタンド側からA・B、バックスタンド側をCとします。

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員からの指示に従ってください。
- ②投てき競技の計測は、北競技場の砲丸投を除いて光波測定器を使用します。
- ③フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができます。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できません。
- ④三段跳の踏切板は、男子11m・女子9mで行います。
- ⑤棒高跳はバックスタンド側で競技を行います。

(3) 競技者は、勝手に競技場所を離れることはできません。

(4) **競技規則第144条2bで禁止されたビデオ装置・ラジオ・携帯用音楽プレーヤー・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持・使用はできません。**

(5) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外されます。警告は黄色のカード、除外は赤色のカードを示すことによって審判長から競技者に知らされます。

*** 2019年度から、棒高跳を除いたフィールド競技で試技時間が変更になりました。4名以上は1分となります。**

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

(ただし、天候等の状況により変更する場合があります。)

	練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m60	1m85	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	以後3cm
男子棒高跳	3m00	4m00	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	以後10cm
女子走高跳	1m30	1m50	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60		以後3cm
女子棒高跳	2m00	2m80	2m00	2m20	2m40	2m50			以後10cm

※練習はいずれかの希望する高さで行うことができます。

9 競技用器具について

競技に使用する器具は主催者が用意したものを使用しなければなりません。ただし、やりについては、競技場に無いもの、もしくは1つしかない物の場合は持ち込みを認めますので、希望者は各競技の招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に南側器具庫（フィニッシュライン付近）でやりの検査を受けてください。検査に合格したやりは、預かり証を発行の上、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとします。

10 競技用靴について（競技規則第143条2・3・4・5・6参照）

スパイクの長さは9mm以内とします。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とします。スパイクは

先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければなりません。なお、スパイクの数は11本以内です。

11 瑞穂陸上競技場の使用について

- (1) 今大会の開門時刻は午前7時45分とします。それ以前には立ち入らないでください。申込数に応じて、2F・3Fのバックスタンド裏の待機場所を指定しますので、**場所取りは行わない**でください。

待機場所の指定がある団体は、1日目終了後に荷物を置いていっても構いません。ただし、盗難等の責任は負いません。割当のない団体のメインスタンドの場所取りは禁止します。

- (2) バックスタンドの上部以外には応援幕等を張れません。
(3) 応援はスタンドで行い、本部席前通路や競技場内に立ち入ってははいけません。
(4) **清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任を持って行き、環境美化に努めてください。**

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

- (5) この大会は清掃当番を、8日(土)は名城大附属高校、愛知高校
9日(日)は至学館高校、天白高校 にお願ひしています。
各校の部員は、競技終了後ただちに本部前に集合してください。

12 一般的注意事項

- (1) 本大会は大型映像を使用して競技会運営を行いますので、氏名・所属等の**間違いがあれば本部に申し出てください。**
(2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにしてください。更衣後の荷物は各自で管理してください。
(3) 貴重品類は、各自で保管してください。万一の事故があっても、責任は負いません。
盗難には十分に注意してください。
(4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室（フィニッシュ付近スタンド下）において処置を受られます。**なお、応急処置後の治療は、本人負担とします。

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。けがの治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者で負担（持参）してください。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影を許可するエリアは、スタンドの指定された区域のみとします。禁止された区域での撮影はできません。その他にも、以下の場合の撮影を禁止します。

・選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりしている間や、身体を動かしているなどの準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。